

「抗血栓薬等の服用をしている患者の周術期管理における未分画ヘパリン投与方法の検証」について

○研究の目的

抗血栓薬等の服用をしている患者の周術期の未分画ヘパリン投与方法と APTT の推移を調査し、「抗血栓薬等の服用をしている患者の周術期管理指針」で推奨されているヘパリン投与量と APTT の目標値の順守率とその要因を明らかにした上で、本指針の妥当性を評価し、適正な周術期抗凝固療法について検討する。

○研究の方法

平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 1 月 31 日までに、広島大学病院で手術を実施した患者のうち、術前に抗血栓薬等の服用をしており、周術期に未分画ヘパリンによる抗凝固療法を実施した患者を対象とします。

本研究は全て診療録(カルテ)情報を転記して行います。

カルテから転記する内容は①患者基本情報②手術歴③投薬歴④血液検査データです。(個人が特定出来る情報は転記しません)

(研究期間 承認後～ 25 年 3 月 31 日)

○個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心下さい。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせ下さい。

* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出頂いても今後の診療等に不利益が生ずることは有りません。

.....
お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel:082-257-5579

広島大学病院薬剤部

柴田ゆうか(研究責任者)